

(第1回、最終)契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和8年5月28日
契 約 業 者 名	応用地質株式会社 東京事務所
契 約 業 者 の 住 所	埼玉県さいたま市北区土呂町2-61-5
業 務 の 名 称	R7甲府河川国道管内防災点検・設計業務
業 務 場 所	甲府河川国道事務所管内
業 種 区 分	土木建設関係コンサルタント
業 務 概 要 (変更した内容について記述する)	測量業務 地質調査 道路施設点検 設計 各種調査
履 行 期 間 (自)	令和7年8月30日
履 行 期 間 (至)	令和7年9月30日
変 更 前 の 契 約 金 額	65,307,000円(税込み)
変 更 金 額	+7,557,000円(税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	72,864,000円(税込み)
変 更 理 由	1. 測量 ○基準点測量、現地測量、路線測量、地上レーザー測量 業務の履行期間中に緊急性の高い変状が複数確認され、優先的に対応する必要が生じたため測量箇所及び実施内容を変更する。また、緊急で発注が必要となった工事箇所の設計に必要な測量作業のための費用を追加する。 2. 地質調査(一般調査、解析等調査) ○一般調査 測量実施箇所の変更に伴い、調査箇所及び実施内容を変更する。また、過年度より継続観測を行っていたGNSSによる法面観測箇所について、防災ドクターへ意見を伺い一部箇所の観測を終了することとなったため、現地設置機材の撤去に要した技術的経費を追加する。 ○解析等調査 上記の調査内容変更に伴い、解析等調査のための費用を追加する。 3. 設計 ○一般構造物予備設計・詳細設計 令和7年7月に国道20号沿線で法面からの落石が発生した事象を受け、早期に対策を実施するため、設計箇所を変更し、過年度業務において抽出した落石防護柵の柵高不足箇所の対策工設計のための費用を追加する。また、令和8年1月に国道52号沿線で法面のモルタル崩落が確認されたため、対策工設計のための費用を追加する。 4. 履行期間 上記測量、調査および設計の追加に伴い履行期間を124日間延伸し、令和8年9月30日までとする。